

## 本市の復旧・復興計画の進捗状況について

### 1 復旧・復興計画の策定の意義

本市の復旧・復興に向けた考え方やプロセス、さらには、目指すべき「復興の姿」を明確にし、市民の皆様と共有するもの。

### 2 復旧・復興計画の区分

#### (1) 復旧計画

インフラの復旧や産業の再建など各分野の「復旧」までの作業工程を示すもの。

#### (2) 復興計画

##### ① 復興ビジョン

復興に向けた基本方針や主要な施策などを示すもの。

##### ② 復興事業計画

復興ビジョンに基づき、具体的な取組や主要な事業を示すもの。

#### <策定時期>

復旧計画及び復興ビジョンについては9月末を、具体的な復興事業計画を含む全体的な「復旧・復興計画」については年内を目途に、策定作業を進めていく。

### 3 復旧・復興計画の検討体制

#### (1) 市東日本大震災復興本部

震災復興事業を計画的に実施するための総合調整や復旧・復興計画の策定等を行うため、6月1日に「市東日本大震災復興本部」(本部長：市長)を設置した。

#### 【参考】これまでの主な協議・検討内容（全体会議10回、臨時会議5回）

⇒ 復旧・復興計画の策定手法について

- ・放射線モニタリングの進め方について
- ・避難住民への行政サービスのあり方について
- ・生活再建に向けた各種制度の概要(冊子)について
- ・除染対策の進め方について
- ・国から示されている様々な放射線安全基準について
- ・新たに示された原子力発電所事故収束の工程表について
- ・生活再建支援の推進方法について
- ・市復旧・復興計画検討委員会の開催状況について
- ・双葉郡8町村との今後の連携のあり方について

など

## (2) 作業部会

市民生活・地域経済等の広範囲な分野にわたり、中長期的な展望に立ちながら庁内横断的かつ重点的に取り組む施策については、同本部内に次のように4つの「作業部会」を設置し、現在、庁内で調査・検討を進めている。

| 作業部会名   | 構成員及び検討状況（◎部会長、○副部会長）  |
|---|--|
| <p><b>沿岸域等土地利用作業部会</b></p> <p>⇒「津波等により甚大な被害を受けた沿岸域等の復興に向けた取組」を検討</p>                | <p>◎都市計画課長、○市民協働課、土木課、都市整備課、小名浜支所、勿来支所、四倉支所、久之浜・大久支所、豊間公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5地区(19被災地区)との地区懇談会開催(2～3回目)</li> <li>・国交省の津波被災市街地の復興手法調査事業と連動対応(意向調査、素案策定)</li> <li>・支所等職員と作業部会との庁内検討会議も適宜開催</li> </ul> |
| <p><b>地域力再生・強化作業部会</b></p> <p>⇒「地域コミュニティやライフラインをはじめとする生活基盤など地域力の再生・強化に向けた取組」を検討</p> | <p>◎市民協働部次長、○危機管理課、総務課、市民協働課、市民生活課、保健福祉課、地域医療対策室、排水対策課、土木課、道路管理課、河川課、営繕課、都市計画課、生涯学習課、水道局経営企画課</p> <p>⇒ 地域コミュニティの再生強化策、ライフラインのあり方など検討【これまで8回会議開催】</p>   |
| <p><b>地域産業再生作業部会</b></p> <p>⇒「震災や原子力発電所事故により深刻な打撃を受けた地域産業の再生・復興に向けた取組」を検討</p>       | <p>◎産業・港湾振興課長、○農政水産課、環境企画課、商工労政課、産業・港湾振興課</p> <p>⇒各産業分野の被害状況と復旧等の課題、「エコ日本一のまちづくり」に向けた方策など検討【これまで8回会議開催】</p>  |
| <p><b>都市魅力再生作業部会</b></p> <p>⇒「著しく損なわれた地域イメージの回復を図る、都市魅力の再生・復興に向けた取組」を検討</p>         | <p>◎交流事業推進課長、○広報広聴課、いわき芸術文化交流館、観光物産課、都市計画課、文化課、保健体育課</p> <p>⇒地域イメージの回復を図る短期的・中長期的な取り組み方針及び行政、民間、市外における具体的な取り組み等を検討【これまで5回会議開催】</p>   |

### (3) 復旧・復興計画検討委員会

復興ビジョンを策定するにあたり、関係する分野の有識者等の意見を反映させる観点から、7月12日に「復旧・復興計画検討委員会」を設置した。

#### 【参考】これまでの主な協議・検討内容

第1回会議 7月12日：被害状況等の説明、意見交換など

第2回会議 7月25日：現地視察、基本方針の骨子等の検討など

第3回会議 8月5日：復興ビジョン（案）の検討

第4回会議 8月12日：復興ビジョン（案）の検討

#### 【委員名簿】

| 委員名  | 所属等                              | 備考              |
|------|----------------------------------|-----------------|
| 齊藤充弘 | 福島工業高等専門学校<br>建設環境工学科 准教授        | 委員長<br>【都市計画】   |
| 小野栄重 | いわき商工会議所<br>会頭                   | 副委員長<br>【経済・産業】 |
| 梅本通孝 | 筑波大学大学院<br>リスク工学専攻 講師            | 【原子力防災】         |
| 遠藤寿海 | 東日本国際大学<br>福祉環境学部 教授             | 【地域福祉】          |
| 平 則夫 | 市立総合磐城共立病院<br>事業管理者(東北大学医学部名誉教授) | 【医療】            |
| 出村克宣 | 日本大学<br>副総長 工学部学部長               | 【都市防災】          |
| 東 之弘 | いわき明星大学<br>科学技術学部 教授             | 【新エネルギー】        |

## ※ 復興ビジョンの骨子（案）

### 第4回復旧・復興計画検討委員会資料より ～抜粋～

- 復旧・復興の目的
  - ① 市民の安全・安心の最大限の確保
  - ② 震災前にも増して活力に満ち溢れたまちの創造
- 目的達成に向けた復旧・復興の理念
  - ① 「オールいわき」「オールジャパン」による復旧・復興（連携）
  - ② 災害に強く、安全で、安心できるまちを目指す復興（安心）
  - ③ 前例のない複合災害からの再生モデルを世界に示す復興（活力）
  - ④ 住む人も住む場所も世界から愛されるまちを目指す復興（魅力）
  - ⑤ 原子力災害を克服するとともに、再生可能エネルギーの導入を推進し、原子力発電に依存しない社会を目指す復興（挑戦）
- 推進期間（H23～H32）
  - ① 復旧期間3年、② 復興期間5年、③ 発展期間10年
- 主な施策（「取組の柱」など）
  - ① 被災者の生活再建
  - ② 生活環境の再生・強化
  - ③ 社会基盤の再生・創造
  - ④ 経済・産業の再生・創造
  - ⑤ 復興の推進

#### (4) パブリックコメントの実施

検討委員会が取りまとめた復興ビジョンの素案について、多様な市民意見を求め、それらを最終案に反映させるため、パブリックコメントを実施する。

#### (5) 復興に関する連絡調整会議

復興に関して情報共有等を図る観点から、国、県及び市内関係団体等で構成する「復興に関する連絡調整会議」を設置する。

#### (6) 復旧・復興計画検討市民委員会

具体的な取組みを示す「復興事業計画」の検討を進めるため、市内各界各層の代表者からなる「復旧・復興計画検討市民委員会」を9月中旬を目途に設置する予定である。